847
112

文化八未年

京

改

戯場

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用

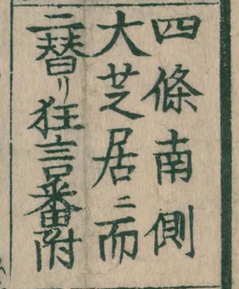
847
112

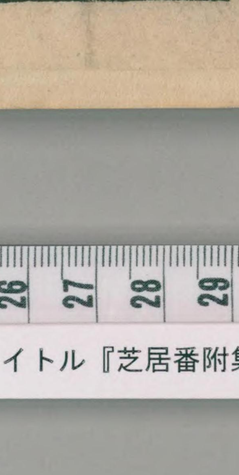
国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112
ガラス使用

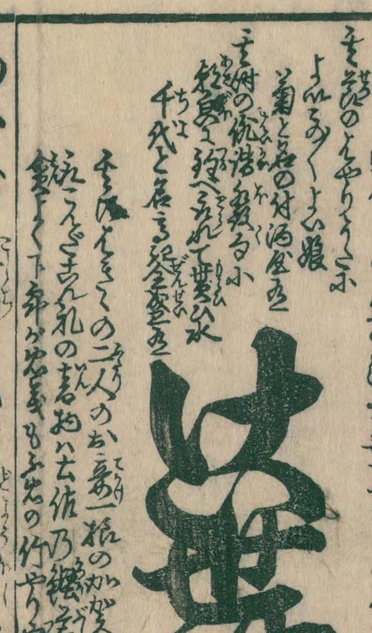
国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

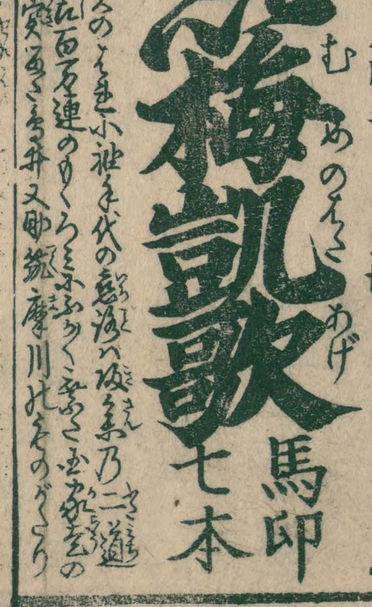
ガラス使用

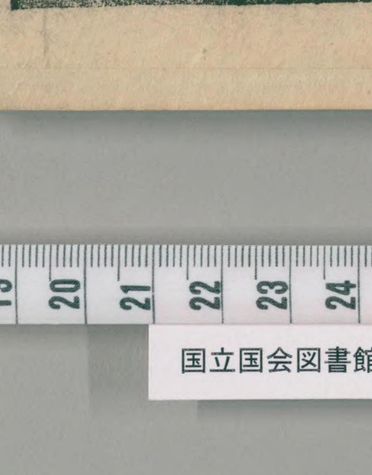
四條南側
大芝居ニ而
二替リ狂言番附

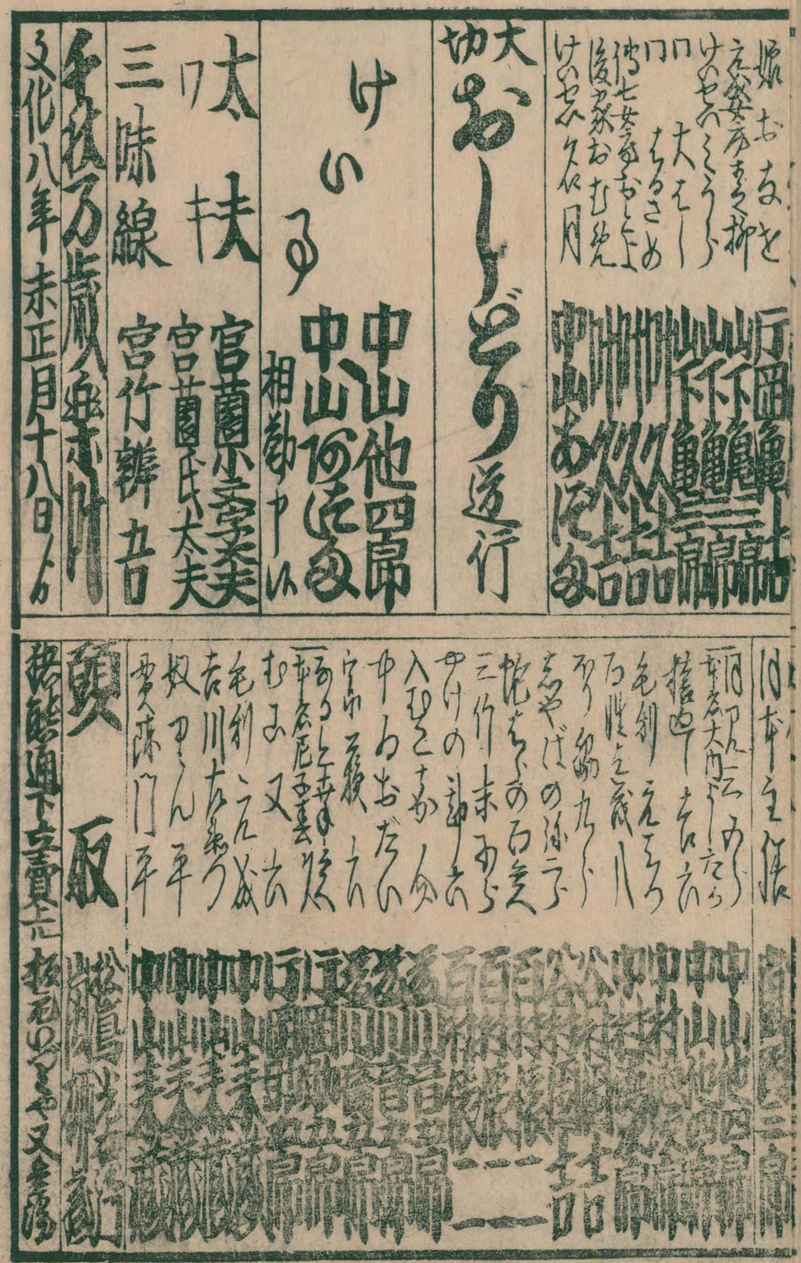












国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

梅小春　家とく空のまま夢のふ剣ったんだ筑摩川さん船

梅小春　釈部小約べとくまで世の水多ぬ名る兎御清の酒

梅小春　やひの七うけし兎御投之亜ーまで天下統ニ兎御ちの酒

梅小春　先祭の源ま運とま寺代の名紙月惜浅ま菊酒屋の酒

梅小春　尼門の兎ふひったりみ生ま帳妻ちの酒

梅小春　兎人返去れ門出度ま百万石の大出入の酒

大切景支　傾城買ひ指南所

やくしや名作ものも別乗うり清く

亀谷冬太夫

中山農兵帰　中山農兵帰　小川吉兵帰　中村歌六帰　中村歌六帰　山下野歌六帰　大谷友右衛門帰　大谷友右衛門帰　山下野歌六帰　中山農兵帰　中山農兵帰　中山農兵帰

小性申ス　中村多の太　中山綾次帰　中山馬太帰　中山泳太帰　坂東多三帰　三升幸助　芝沢とのり　相山激五帰　中山万九帰　中山平三帰　市岡嶌多郎　今村七三帰　今村七三帰　浅尾奥蔵門　浅尾奥蔵門　浅尾奥蔵門

小性申ス　切のう市助　月ころさみ　松平公臣来る　小やこ一こ亜　こえのさめ　の　民梅ご参　なのこおぞん去　石性美太　つま宗次　沢山八ご亜　来ろげん文　平の午古天　ろいも七ろ次　門ま　石性来乱ま　ふすご組参　いーや石ふ　多田ほろ　東ろぐ午

奴　松平　奴　松平　中村梅玉帰　中村梅玉帰　中村梅玉帰

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

二番目 名代 宮古嘉太夫

いろはにほへと 錦嶋会所噺

上 中 下

藤川清十郎	中山満三郎	中村漢之助
山下音蔵	中山栄次郎	中村芝翫
関三十郎	中山文五郎	中村歌右衛門
藤川清七	松島太沢	中村福助
藤川友吉	松島太沢	中村芝翫
関三十郎	松島栄次郎	中村歌右衛門
藤川清十郎	松島太沢	中村福助
山下音蔵	松島栄次郎	中村芝翫
関三十郎	松島太沢	中村歌右衛門

大切 景事 領城員人指南

小いやうせ	中山小三郎	中村米吉
てん王の	中山富三郎	中村福助
後の久さう	相山紋次	中村芝翫
衣目やおひさ	中山富三郎	中村歌右衛門
先の久さう	中山文五郎	中村芝翫
ふくや伊左ヱ門	中山三五郎	中村梅玉

大切 三味線 長うた みせん

宮薗鳳鸞軒 宮竹間十郎

鈴木鼓寿 杵本為三郎

文化八年未正月十八日ゟ

狂言作者 頭取

浅尾為十郎

狂言作者

市岡理平

杵本政造

鴻田喜作

並木半蔵

澤田勝二

名代 宮古嘉太夫

いろはにほへと 錦嶋会所噺

上 中 下

藤川清十郎	中山満三郎	中村漢之助
山下音蔵	中山栄次郎	中村芝翫
関三十郎	中山文五郎	中村歌右衛門
藤川清七	松島太沢	中村福助
藤川友吉	松島太沢	中村芝翫
関三十郎	松島栄次郎	中村歌右衛門
藤川清十郎	松島太沢	中村福助
山下音蔵	松島栄次郎	中村芝翫
関三十郎	松島太沢	中村歌右衛門

大切 景事 領城員人指南

小いやうせ	中山小三郎	中村米吉
てん王の	中山富三郎	中村福助
後の久さう	相山紋次	中村芝翫
衣目やおひさ	中山富三郎	中村歌右衛門
先の久さう	中山文五郎	中村芝翫
ふくや伊左ヱ門	中山三五郎	中村梅玉

大切 三味線 長うた みせん

宮薗鳳鸞軒 宮竹間十郎

鈴木鼓寿 杵本為三郎

文化八年未正月十八日ゟ

狂言作者 頭取

浅尾為十郎

狂言作者

市岡理平

杵本政造

鴻田喜作

並木半蔵

澤田勝二

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

因幡藥師
芝居ニ而
狂言番附

亀刻版
下絵関
東雲雀
雀雀
雀雀

代名
續孝四郎

役者名ゝ次第

四条北側
大芝居ノ向
狂言番附

賀越 雪景羽 安宿直禮 讀切講釋

家来主人の為に命を捨てる者あれば又主人の為に命を捨てる者あり其善悪を論ずるに及ばず其志の厚薄を察すべし

ここに紹介する安宿直禮は其の後の浪人沢井股之助と

のいのさくら

発売所 早雲堂 振替口座 ○○○○

彩画小冊 水もる大川の 流木乃代命
山もる大川の 神おもひの 多川多主多命
もる彼市ミこ おしやれおもる女 前もる右ニ来
妻産 夫今 子ども 代六の侍多 ほぐる皮之
娘 文ざの 多く死本月 志ぐ多七 教本ニ志 内
松以多人

ぶんご娘 こみ 御ゃる 上 ろうそく

中村八百次 助
竹山弥三郎

今様乃浦嶋子門

文化八年未二月十六日ゟ

狂言作者
狂言作者

池野次助
正助

頭取 原

いの能下志多志ニル

松村国蔵

中山梅本公
中山梅本公
中山梅本公
中山門二郎
中山門二郎
中村哥川
中村哥川
中村八明
芝次川小次郎
芝次川小次郎
浜松七湯
浜松七湯
浜松七湯

口上

序　連名の揃ひ不揃ひ大名の細紙

二　三字の名前の事　役者の紋

三　登城の義　式日　毎月朔日の二日並

四　上様の出座おひ　御上使

五　御客御食事の湯の振舞

六　役者のお名ざし連判の義

七　木辻の後名前別紙これ在り

口上

渡始顔揃

相撲番附

役者替名附別紙これ在り

口上

渡始顔揃

相撲番附

役者替名附別紙これ在り

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

四条南側
芝居茶屋附
三ノ替狂言番附

繪本八册
役者栄錄

義勇名男
親孝行男

東洲斎写楽画

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

濃姫錦昔噺

松嶋由太公　山下梅二こ
山下梅二こ　松嶋義之助
松嶋義之助　浅川亀太郎

誓言催

頭取　浅尾百蔵

文化八年未二月十六日ら

纖容纂錄

役者音名之次第

嵐璃寸　嵐璃助　中山播次郎　中山播次郎
嵐雛助　嵐雛太郎　門尾うめ太郎　門尾うめ右
坂東菊二郎　坂東菊二郎　二枡孫十郎　二枡孫十郎
芳沢いそ次郎　芳沢いそ次郎　中山九郎兵衛　中山九郎兵衛
門尾うめ右　門尾うめ右　大谷友次郎　大谷友次郎
桐山紋次　桐山紋次　桐山紋次　桐山紋次
今村七三郎　今村七三郎　今村七三郎　今村七三郎

安達元右エ門　佐野安兵衛　佐野安兵衛
もと木久八　文芝伝次郎　文芝伝次郎
七和田与一　仲乃小八　仲乃小八
三浦かめ吉　三浦秀吉　三浦秀吉
うめ娘みさを　門川でん助　門川でん助
はせ川琴つる　さくや伝右エ門　さくや伝右エ門
佐野安兵衛　十文字伴作　十文字伴作
文芝伝次郎　はくきこの人名ハ作者　はくきこの人名ハ作者
仲乃小八　別家のこゝろなり　別家のこゝろなり
三浦秀吉
門川でん助
さくや伝右エ門
十文字伴作
はくきこの人名ハ作者
別家のこゝろなり

中山豊五郎　中山豊五郎　中村歌六　中村歌六
中山豊五郎　中山豊五郎　山下里之助　山下里之助
小川吉太郎　小川吉太郎　行岡木公助　行岡木公助
中村歌六　中村歌六　大谷友次郎　大谷友次郎
山下里之助　山下里之助　桐山紋次　桐山紋次
行岡木公助　行岡木公助　桐山紋次　桐山紋次
大谷友次郎　大谷友次郎　今村七三郎　今村七三郎
桐山紋次　桐山紋次
桐山紋次
今村七三郎　今村七三郎

亀谷条之丞　都乃太夫

芸一　芸二　芸三　芸四　芸五　芸六　芸七　芸八

栗原楼乃ぶん
栗州屋乃ぶん
栗澤乃ぶん
西源乃ぶん
本曽乃ぶん
栗梅重乃ぶん
七小田乃ぶん
歌行燈乃ぶん

やくしゃうろくの名ハ別家のこゝろなり

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112
ガラス使用

四条北側
大芝居ニ而
始り狂言番附

前狂言 絵本太功記 十段物

発早雲仁木大夫
有慶館之段

小川敬平
小田喜代松
松ノ葉八郎
軍兵助作
"
石性太郎
奴 吉住
"
"
"

切狂言番附

旧条北側
大芝居ニ而
切狂言番附

伊勢音頭恋寝刃

上中下

代名 早雲長太夫
布袋屋梅之亟

役者 替名之次第つゞく

中村市蔵
大谷友次
大谷友次

中嶋三甫蔵
坂田次郎吉
松嶋小市
嶋千十吉

浅尾奥三郎
浅尾東蔵
浅川万吉
浅尾奥三郎

浄瑠理三味せん

竹本沢太夫
竹本染太夫
豊沢宗右

浅尾右源太
浅尾右源
花相芝乃木之
花相芝乃木之
市川亀太郎
市川亀太郎
坂田乃右
坂田乃右
山乃辺梅三郎
山乃辺梅三郎
山乃辺龍三郎
山乃辺龍三郎
山乃辺多三郎
山乃辺多三郎
花相岩之丞
花相岩之丞

狂言作者

夏井久次郎
九枝弥三
奈河弥助

浅尾奥三郎
浅尾東蔵
浅川万吉
浅尾奥三郎
浅尾園之助
浅尾園之助
花相岩之丞
花相岩之丞
浅川万吉
浅川万吉
浅尾奥三郎
浅尾奥三郎

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用

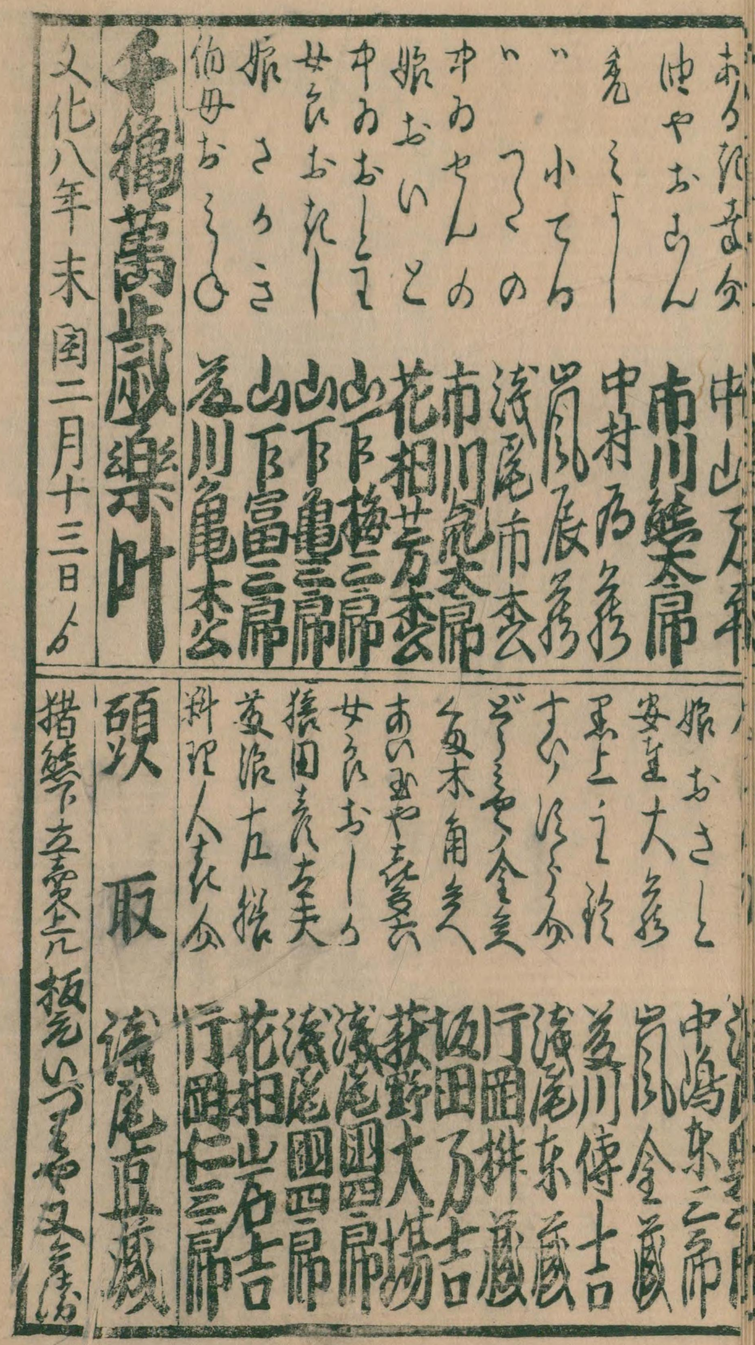
四條南側
芝居ニ而
狂言番附

前狂言 高野の玉川 陸奥の玉川 伽羅先代萩

五冊物

繪萬歳樂叶

文化八年未閏二月十三日ゟ



国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

前狂言 八陣守護城

當芝居番附不審有所記候
因幡藩重臣家老之旨
文化八未三月十三日

名代松五郎

文化八年辛未三月十二日より
千秋万歳楽ず

狂言作者
近松加遊

浅尾檀七

頭取

七日狂言 条仙会 吉野櫻

西川大作
三桝大五郎

狂言作者
近松加遊

浅尾檀七

頭取

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112
ガラス使用

如狂言 雪廓 申

一 如月狂言 雪廓大通 全部五冊
一 右 名代早雲仁木大夫
一 名代 布袋屋梅之烝
一 名代

切狂言 いろは新助 鐘鳴今朝噂

役者のへ名乃一だい

いろは新助 市川鰕蔵 実ハ 中村市蔵
新助女房つま 市川鰕蔵 実ハ 芝川冨三郎
うめもと おげり 芝川冨三郎 実ハ 坂田万右衛門
でっち出 中村千代 実ハ 浅尾奥三郎
ちょぼくれ 中村千代 実ハ 浅尾東三郎
ものうり八 中山小市 実ハ 大谷友治
うど乃三吉 中山万年 実ハ 坂田治郎
おはま小八 大谷友治 実ハ 芝翫大場
名代伊之 中山傳次郎 実ハ 浅尾国三郎
松坂や善七 山嵐金蔵 実ハ 芝川冨三郎
割人力之 山嵐金蔵 実ハ 芝川冨三郎

つぎのうへ乃一だい

刀屋新助 中村市蔵
ゐる松かづへ 芝川冨三郎
刀屋亭主 坂田万右衛門
る松半次郎 浅尾奥三郎
角力九千力 大谷友治
今福村六之丞 大谷友治
丹屋武右衛門 芝翫大場
なでおくはら 浅尾国三郎
おひの糸八 浅尾東三郎
初花傳七 山嵐金蔵
下男仁三郎 芝川冨三郎

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112
ガラス使用

三上丈夫　濱屋東兵衛
浪川傳右衛門　浪尾右彌
市川虎之助　山下梅三郎
山下龜三郎　浪川龜松

千秋万歳樂司

淫祠理　竹本淡之丞
三味線　竹本淡之丞
　　鶴澤宗右衛門

文化八年辛未三月十日より

大壇演場記　琴三味線のだん

岩永左衛門	中村市藏	
淺沢六弥	浪川傳右衛門	
狐やちゃぶの手也	市川鰕十郎	
	山下梅三郎	
	山下龜三郎	
狂言作者	淺野喜代之丞	
	吉河市助	
頭取	淺尾眞藏	

精進料理茶屋又兵衛板

因幡藥師　芝居ニ而狂言役割附

假名手本　義士文章

讀込八冊

代名題看板書

中山德三郎　中山德三郎　中山德三郎
藤川由三郎　中山德三郎　藤川由三郎
山下ユミ　山下ユミ　山下ユミ
小野寺名跡　大星力彌　神田ちの事
　　酒屋弥左衛門
　　ちの婦やす
　　下女おろん
　　狂の看病
　　本常力
　　たいこ一八

矢狹間十左衛門　田代安之丞
團伝　仲間　田代伝之丞
ちの母ちの事
りの井名加し助
子おやすこゑ
こゑおろく
九こゑおろく

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112
ガラス使用

四條南側
大芝居に而替り
狂言番附

敵討鞆の旅太夫

丹波噂

安栄座
開書仲紙

寫本八冊

後者うへ名のしだい
中村金七
児玉村松次郎
三升梅次郎
中村栄次郎
山崎百蔵

つぎ役者かへ名乃しだい
中山百蔵
小川松次郎
山崎栄次郎
山崎栄次郎
山崎栄

四条南側大芝居
而切狂言番附

名代勢揃太極

京羽重新雛形

切狂言 注文三端

一端 廣の芝居

二端 巡り廊下

三端 繁昌賑

汝若へ名のり

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

四條北側
太芝居而
狂言番附

名代日蓮記錄

寒垢離穢

前狂言

太營業鑑

大序ヨリ
三段目迄

奏聞乃段
奥礼講乃段
薬太鼓乃段

對面乃段
上使論乃段
身替乃段

長歌

太夫
ワキ
三味線

千秋万歳発会

文化八年辛未五月十五日ゟ

亀壽齋

宮薗鳳凰軒
宮薗民吉夫
時沢右造

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用

切狂言

藍摺鷹金襴

新地芝居
新了屋
阿波産絆屋
しもつき捕者
役者名附

因幡堂の縁記

三圓堂の由来

開帳

御手引

代替屋敷書附

千秋万歳樂可

文化八年辛未八月十一日より

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用

寺町道場
廿三番ノ向
打出役割附

御城櫓陳立

千龜萬歳集叶

文化八年未九月九日ゟ

代官萬屋美濃

續本七冊

狂言作者

顔一段

假者數名ゟ決ル

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

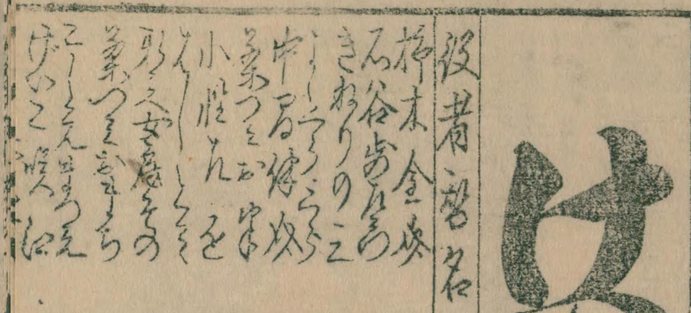
ガラス使用

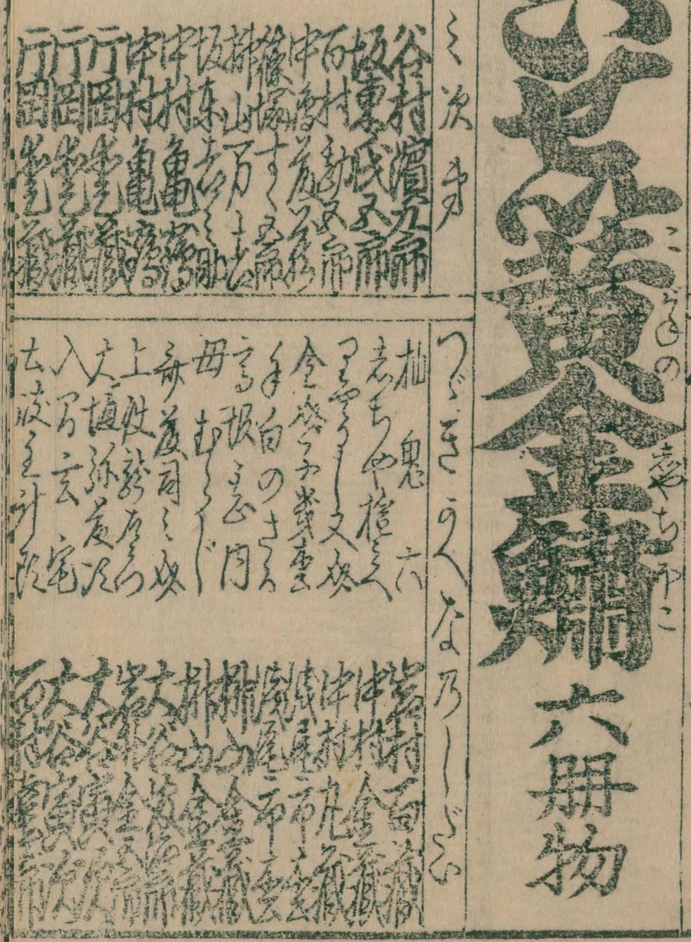
寺町通場芝居ニ而相勤候別附

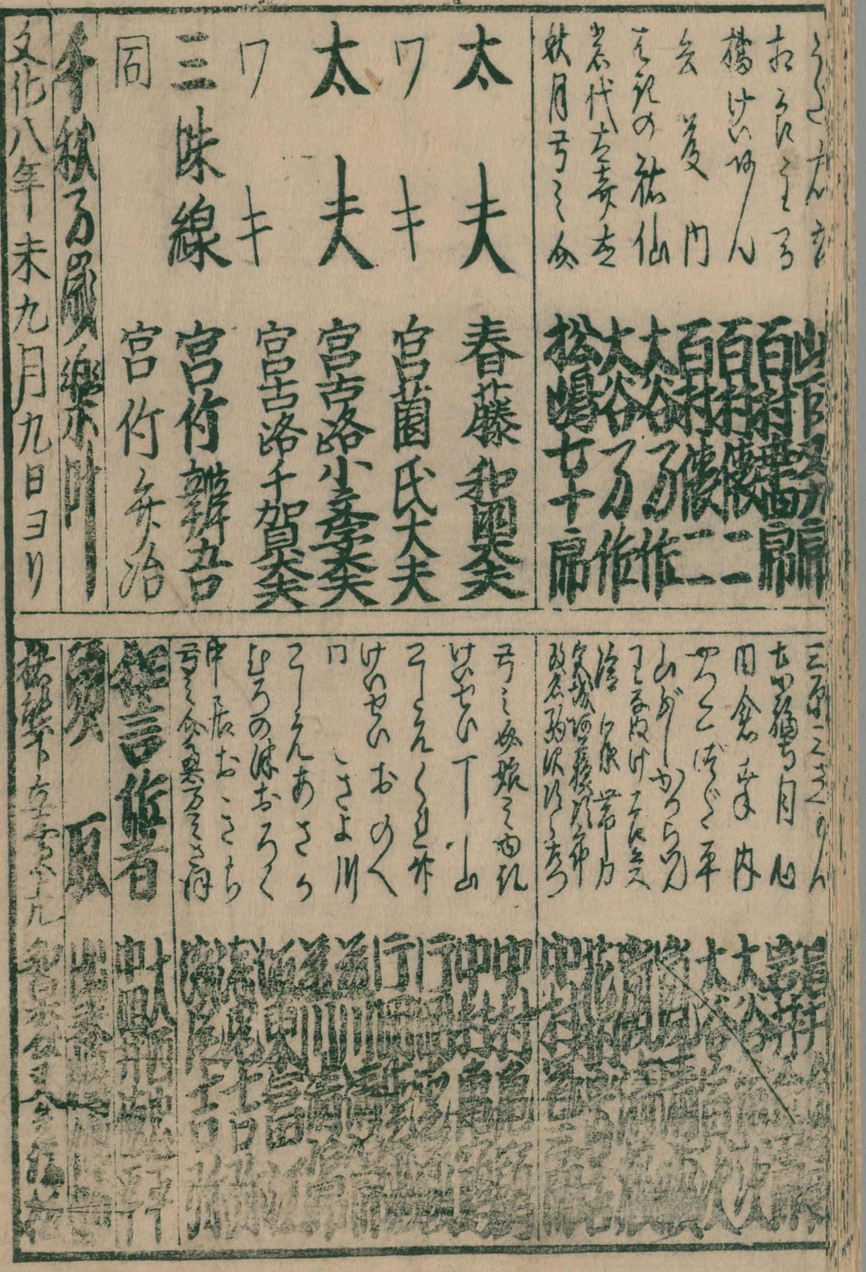
役者名ゑ尽し

役者宝寄矢

六冊物







国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用

四條北側
芝居顔見世
狂言番附

立役姿形座附御目見 江仕候

寒星長吉実
寒布屋善蔵実

まさる 千歳 坂東市松

壽花叟 翁 中山来太郎

めでたや 三番叟 千歳之助

千秋万歳楽

寿富士額男
富蘭氏女実
富士浪雄吾実

富行評者
富竹多治

口上 山本幸八

狂言作者 谷本治助 大西忠平

頭取 出来嶋仙助

文化八年十一月廿一日より
楢葉下三元之二時 松島蓉又書板

源八渉　三枝助
平太隈　三枝助五册物

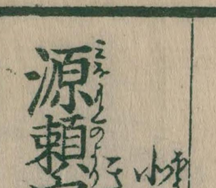
大切所作妻　京屋娘雀成寺
芳澤いろは

役者名前別紙ニ認ル

やくしゃかへ名の次第

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用



四條南側
芝居顔見世
狂言番附

立役女形座附御目見江仕候

翁 中村歌六 千歳

三番叟 嵐福太郎

源頼家 中村条太郎

紅葉狩軍記 十冊

小栗乃こもち鎌入谷炉東大寺九重塔対蘭奢待紅葉狩軍記

廉貞 亀蔵 参蔵

都万太夫

安名尽大切伝授 長谷寺霊験記 名所染井門松 小源太 そがえんぐん

大切 京鹿子娘道成寺

白びやうし

所作事

所作事

所作事

源實朝

和田乃義の九ヶ條左衛門尉へ
おゝうけく冠うの軍ゆへごうさうひぐらし甚の大鼓

發端 画る堂の甍の数ひ渡る家の煙まれ

上巻 乙津の橋ゞ井の姫入れ

中巻 女輝陣の
く武名れ

後巻 義盛の大将軍
嫌翁の烏帽子浪れ
役者名所名所

近江源氏先陣館

やゝくしやうへ名乃しぐれ

鼓ヶ嶽城攻

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112

ガラス使用

四條南側
芝居顔見世
狂言番附

源頼家
源實朝
連源氏系圖

十冊物

名寄
龜鑑
都万大夫

小栗乃一代の繼ハ武勇の名將なり
和田乃義の九ハ陸奥の住人なり
小栗判官東大寺ハ蘭奢待を
盜み給ひ常陸へ流され谷七郷へ
蟄居ありしが後ハ赦免の大赦
にて都へ帰り給ひ
照手姫ハ小栗の
妻なり

切時代蒔繪
狂世話莫蓙
古鏡二重盃

三器箱入

山風老の高嶋

狂言替名狂言作者
二番目
狂言作者 芳澤 綱十郎
狂言作者 並木 正三
狂言作者 並木 重助
狂言作者 並木 五瓶

三桝濱千鳥

狂言作者 並木 宗輔
狂言作者 並木 正三
狂言作者 並木 重助
狂言作者 並木 五瓶

河村瑞賢

狂言作者 並木 宗輔
狂言作者 並木 正三
狂言作者 並木 重助
狂言作者 並木 五瓶

常陸帯

狂言作者 並木 宗輔
狂言作者 並木 正三
狂言作者 並木 重助
狂言作者 並木 五瓶

浮獄鴈

同 竹本富美
同 竹本富太夫
同 竹本富士太夫
同 竹本富士松

三味線

同 鶴澤友次郎
同 鶴澤友治郎
同 鶴澤友之助
同 鶴澤友右衛門

頭取

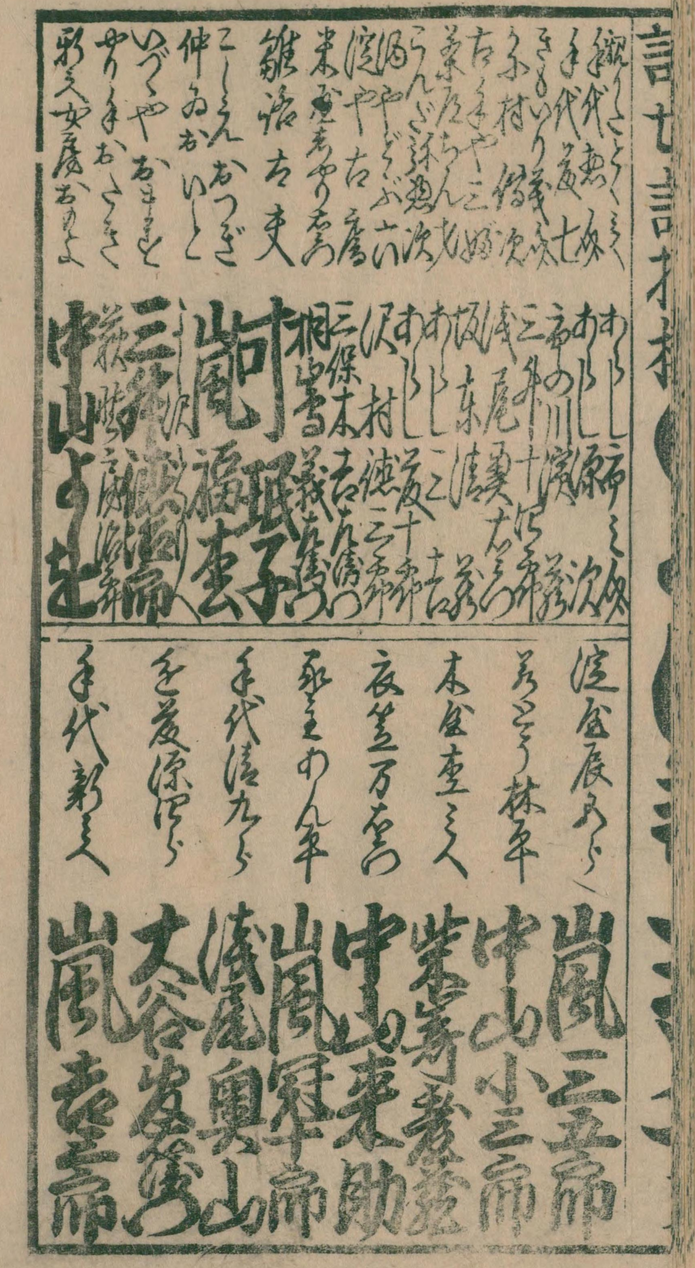
浅尾直藏

千秋万歳楽

国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112
ガラス使用

847
112

言七言才春



国立国会図書館　タイトル『芝居番附集』 請求記号 847-112
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『芝居番附集』　請求記号 847-112

ガラス使用